

浦高生が町の活性化のために考案！ 浦河町のイメージキャラクター

～愛称募集～



池田町長に提案に訪れた、3年C組卒業生
右から上山さん、崎広さん、加藤さん

今年3月に卒業した浦河高校3年C組（担任・森祐介教諭）が、昨年度総合的な学習として取り組んだ浦河町のイメージキャラクター作成について、3月22日浦河町役場にて提案がありました。

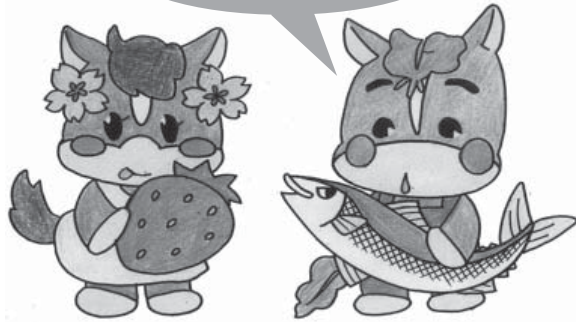
提案当日には、担任の森教諭、イラストをデザインした上山愛美さんや、クラスで中心的に活躍した崎広華捺さん、加藤真莉絵さんが訪れ、最終選考されたキャラクターの活用や名前の公募、着ぐるみの作成等のアイデアについて活発な意見交換が行われました。

浦河町では、今後提案を受けたイメージキャラクターの活用について検討を進めていきます。その第一弾として、キャラクターの愛称の公募を行います。

全国的にも「ゆるキャラ」と呼ばれるキャラクターがブームとなっており、浦河町の明日を

担う若い力が生み出したキャラクターが活躍できるように、町民の皆さんに愛される名前を募集します。

僕たちにかわいい名前を付けてね！



【浦高生が考案したイメージキャラクター】

<応募方法>

- ◆応募用紙またはEメールなどで応募下さい。
応募用紙と応募ポスタは、5月7日より役場企画課、荻伏支所、総合文化会館などの町内公共施設に設置します。（EメールやFAXでも可）
- ◆記載内容
①キャラクター愛称、②応募者の氏名・住所・年齢・電話番号、③愛称の由来や理由
- ◆応募要件、町内在住の方なら誰でも可能
- ◆締めきり 6月30日（土）
- ◆Eメール：info.urakawa@town.urakawa.hokkaido.jp
- ◆お問い合わせ・応募先
浦河町役場企画課 電話 26-9012（直通）
FAX 22-1240

体験移住者の体験記をPR冊子に

移住体験日記

うらかわ暮らし

埼玉県在住の根本敬子さんは浦河町での体験移住をきっかけに浦河町のファンとなった方で、町では平成21年にも根本さんの絵日記を活用して夏の体験移住のPR冊子を制作しました。この夏の冊子はテレビや新聞などでも紹介され評判となりました。町では夏に引き続き、冬の暮らしもPRしたいと考え、再度根本さんに協力をお願いしたところ、快く協力いただき、冬から春の魅力満載な絵日記が完成しました。

完成した冬の絵日記は、各種PRで活用するほか、町内でも役場企画課、荻伏支所、図書館などで配布しています。

移住体験絵手紙

涼しさを求めて

栃木県在住の岡崎弘子さんは、平成22年に夫婦で浦河町に体験移住し、夏の涼しさや浦河町の自然や文化、親切な地域の方とのふれあいに感動し、奥さんの趣味である絵手紙に滞在中の体験談をまとめました。

町では根本さんと同様に体験移住者の貴重な体験手記としてPRに活用したいと考えて、岡崎さんに協力をいただいで発行することになりました。

完成した絵手紙は、新たに浦河町に体験移住に訪れた世帯向けに配布するほか、町内でも役場企画課、荻伏支所、図書館などで配布しています。



第二弾となる根本さんの絵日記、浦河町の冬の魅力が優しいイラストで紹介されています。

発行元：馬と人と地域の活性化協議会
発行部数：5,000部



美しい挿絵が印象的な岡崎さんの絵手紙。

発行元：浦河町集落再生活性化協議会
発行部数：2,500部